

ほっかいどうの社会保障

2011年8月22日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:011-758-4666

社保学校まであと3週間「二宮講演、是非聞きたい」 会場いっぱいの参加者で成功させましょう！

9月11日（日）行われる「北海道社会保障学校 in 札幌」まであと3週間となりました。全道各地で、社保学校のポスターや開催要項を見て、「新政権誕生後の講演なので、二宮さんの講演を是非聞きたい」「生活保護の相談に応えられるようになりたい」など期待の声が寄せられています。各団体でも参加組織が進められています。

すでに、札幌はもとより、函館、釧路からも事務局にも参加の申し込みも集まりだしています。申し込みは、**9月1日（木）まで**ですので、早めに申し込みをお願いします。

札幌市内・近郊では、新聞の折り込みもする予定しています。



いのけん総会 いのちと健康を守ろう！ 過労自殺・過労死遺族も訴える

8月20日（土）、働く人びとのいのちと健康をまもる北海道センターは第39回定期総会を行いました。総会では、活動の総括や方針案などの提案がされました。討論では、現在、ご家族の過労死や過労自殺などで労災申請や裁判を行っているご遺族も参加され、支援を訴えました。

過労自殺したTさん（28歳男性）のお父さんは、「『事実を知りたい』『息子の無念をはらしたい』」の思いから、調査をはじめ、2年間で1037時間の不払い残業があり、亡くなる6カ月の平均残業は月90時間であることがわかり、達成ができない営業ノルマがかせられていたこともわかりました。これは明らかに会社の安全配慮義務違反です」と発言し、支援を訴えました。ガソリンスタンドでサブマネジャーをしていたTさんは過重な仕事と営業ノルマ、支援のなさでうつ病となり昨年1月自ら命を絶ちました。精神科の受診歴がないことから精神科医師との面談も行い今年4月労災申請しました。引き続き、会社に対して民事訴訟を準備中です。

また、自動車会社で過労のため脳幹出血で亡くなったYさんのご夫人は、「みなさんに支えられ2年間裁判を闘ってきました。来月判決を迎えます」と述べ、引く続く支援を訴えました。



介護現場から、体制が少なく過重労働に加え、労基法を知らない管理者などにより「福祉はボランティア」などとサービス残業強要さるパワハラなどによりメンタルヘルス不全が広がっている実態、アスペルト相談会の取り組み、教職員のメンタルヘルス不全なども報告されました。

参加者は、いのちと健康を守るとりくみを強めることを確認し合いました。

北海道歯科医師会が、歯科医療推進署名 **16万筆**



北海道歯科医師会は、『「窓口負担を軽減」し、「保険のきく治療の範囲を拡大」する国民歯科医療の推進に関する請願』署名運動を実施していましたが、8月10日までの約1カ月間で、15万7,953筆の署名が得られ、その後も7千ほどの署名が届けられ、これらを国会議員に請願するとともに（保険適用範囲の拡大などを）細川・厚生労働大臣宛に要望しました（「日刊医療新聞ダイジェスト」より）。

この項目は、保団連や民団連など「保険で良い歯科医療を」全国連絡会が50万目標で進めている国会請願署名とほぼ同じ内容です。